

抗菌薬投与により INR が延長した透析患者の 1 症例

医療法人衆和会 長崎腎病院

○大津留更 渡部さゆり 矢野未来 江藤りか 佐々木修 一ノ瀬浩 澤瀬健次 原田孝司 船越 哲

【はじめに】

ワルファリンは重篤な腎障害患者には禁忌とされているが、必要に応じて INR を適正值に保ちながら透析患者へも使用されている。今回、抗菌薬を併用し、INR が 3 倍以上に延長した症例を経験したので報告する。

【症例】

67 歳男性、原疾患は糖尿病性腎症、透析歴 8.5 年。僧帽弁置換術後、ワルファリン開始され、透析患者のため INR を 2 以下でコントロールしていた。

【経過】

誤嚥性肺炎で入院し、絶食、抗菌薬の TAZ/PIPC4.5g が開始となった (day1~13)。ワルファリンは 4 mg で継続。抗菌薬投与 day3 の INR2.85、day10 の INR8.65 と延長したため、ワルファリンを休薬、ビタミン K のメナテロン[®]の静注、内服により day13 には INR1.28 と低下し、ワルファリンを 2 mg で再開となった。

【考察】

本症例において、INR が延長した要因として、絶食によるビタミン K の摂取不足、抗菌薬の投与で腸内細菌叢の変化によるビタミン K 産生低下、低栄養によるワルファリンの蛋白結合率の低下が考えられた。

【結語】

透析患者へのワルファリン投与は、栄養状態・摂食状況の変化や抗菌薬の投与による INR の延長により注意する必要がある。